

## 「霧ヶ峰高原活性化・再整備検討調査結果」を受けた今後の進め方

令和4年4月28日  
諏訪市 経済部 観光課

(経過)

諏訪市は、新しい時代にふさわしい観光が産業としてこの地に根付くための布石として、本市に内在する観光素材を洗い出し、地域住民・事業者・行政が協働して取り組む方向性や可能性を示す「観光ランドデザイン」を作成した。その中で、霧ヶ峰に代表される「自然環境を活用した魅力の創出」をひとつめのビジョンにうたっている。

また、旅行やスポーツ、働き方等の形態が多様化する中、今後の霧ヶ峰高原の観光振興のあり方と方策を見出すとともに、市有施設の方針について検討するため「霧ヶ峰高原活性化・再整備検討調査」を業務委託により実施し、別冊のとおり最終報告をまとめた。

これらをふまえ、霧ヶ峰高原活性化・再整備に関する今後の進め方を以下のとおり整理する。

### 1. 霧ヶ峰高原の活性化・再整備の方針について

前記調査報告で整理された以下5つの方針に沿って、具体的な施策の立案に取り組む。

- (1) 霧ヶ峰の天然資源を活かし切り地域経済を循環
  - ・四季それぞれの既存資源を活かし、つながりを構築できる民間の事業者のノウハウを取り込みながら、かつ地元や行政とも連携できる体制を構築
  - ・民間活力を導入して一帯の自然や景色を活かし、観光施設の活用・再整備や一帯の魅力向上につながる施設を整備
- (2) 新たな霧ヶ峰ファン獲得に向けた発信・サービスの充実
  - ・次世代向けの啓発やPR・発信の拡充
  - ・初来訪者がより多く立ち寄る拠点施設でのサービスの充実
  - ・初来訪者の満足度を高めるため、施設改修・改善
- (3) いい景色のなかで心地よいひとときを過ごせる空間づくり
  - ・縮小するコミュニティの今後の持続のために、民間の力も交え、そこに行政も連携する「公民協働」の地域づくりに取り組む
  - ・景観阻害要因の除去と環境整備との連動による景観形成（育成）の取り組みの支援の充実
- (4) 強清水ならではの特別感の創出
  - ・自然保護センター（県施設）も交えた自然資源活用のためのしくみや体制の構築
  - ・老朽化した施設の機能転換等により、新たな旅のニーズや体験プログラム等の実践を下支えする施設の充実
- (5) 「初めての自然アクティビティ」をやさしく導くしくみの構築
  - ・緩やかな斜面を活かした初心者向け、ファミリー向けのソフト（アクティビティや体験プログラム）の強化・充実
  - ・アクティビティの満足度を高めるうえで重要なサービス提供につながる施設整備や改修

## 2. 市有施設の再整備について

霧ヶ峰リフト事業については、平成 29 年 4 月「霧ヶ峰リフト検討会」にて「経営改善に取り組み好転しない場合、民営化や終期を設定した事業の縮小や廃止の検討を行う」との報告書がまとめられている。以降、人工降雪機導入やキッズパークオープン等の誘客強化に取り組んできたが、経営は好転せず、前記調査の結果、運営コストの推移やスキーを取り巻く環境等から、市単独での採算性の向上・改善は厳しい状況。

そこで、リフトに限らず、キャンプ場、スポーツ施設等、霧ヶ峰におけるすべての市有施設を包括し、あらゆる選択肢（新規整備・改修・維持・廃止など）を排除せず、設置主体や運営主体については PPP/PFI 手法の導入を念頭におき、民間活力を導入した収益力・集客力アップの可能性を探っていく。

※PPP：Public Private Partnership の略。公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念。民間資本や民間のノウハウを活用し、効率化や公共サービスの向上を目指すもの。

※PFI：Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、事業コストの削減やサービス向上を図る手法。

## 3. 具体的な取り組み

(1) 霧ヶ峰高原の活性化・再整備に関する具体的な施策（アイデア）について、観光・地元関係者、民間事業者、専門家等から諏訪市に対して提言をいただき意見交換をする「場」を設置する。

(2) 提言のテーマ

テーマ①霧ヶ峰の活性化等に関する5つの方針に沿った具体的な施策のアイデア

テーマ②市有施設（リフト・キャンプ場・スポーツ施設等）について、民間活力を導入することによる収益力・集客力アップのアイデア

(3) 提言を受け協議する期間は 2 年間（令和 4～5 年度）

(4) 想定される関係団体等

観光関係団体

- ・（一社）諏訪観光協会
- ・諏訪湖温泉旅館協同組合

地元関係団体

- ・霧ヶ峰旅館組合
- ・強清水自治会
- ・小和田牧野農業協同組合・下桑原牧野農業協同組合・上桑原牧野農業協同組合
- ・諏訪市スキー協会・霧ヶ峰スキースポーツ少年団・霧ヶ峰スキー学校

民間事業者等

- ・未定

専門家等

- ・未定

## 4. 今後のスケジュール

4 月：霧ヶ峰高原活性化・再整備検討調査結果及び市の方針（今後の進め方）を公表

5 月：提言等をいただく団体等の選定及び今後の会議日程の作成

6 月：提言聞き取り開始

※以後、提言を受け、テーマ①については、実行に移せるアイデアから適時取り組む。テーマ②については、令和 6 年度中に再整備に関する方針を決定する。